



2019年7月  
インフィニティは長い航海を終え  
雨の降る中、日本(横浜)に到着  
しました!!

これから日本で機器(船内の  
仕上げ工事)を行い、最初の  
仕事に備えます。

KCS社員によるお出迎え





# KDDIケーブルインフィニティ建造日誌

～回航編～



造船所の皆さん



6月23日日本へ回航開始



日本への長い航路



マラッカ海峡の朝



広くてキレイな操舵室



退船訓練の様子





# KDDIケーブルレインフィニティ建造日誌

2019年6月 引渡し式



スタッフ総出で  
ケーブルレインフィニティ  
の見学会を行いました。



船の引渡し時に記念品の  
交換を行いました。

←造船所からいただいた☆象☆



# KDDIケーブルレインフィニティ建造日誌

2019年6月 海上公試  
(船の性能確認)



船の性能を評価・確認するため、沖合に出て様々な試験を実施しました。



塗装完了後は再び進水させ、船内の最終工事を行います。  
(居室やラウンジ、食堂、船内事務室の仕上げや、機器の最終調整などなど)



# KDDIケーブルインフィニティ建造日誌

2019年4月 船体の塗装



4月 ファイナルドックに  
入った際の船体状態



1層目に、赤の塗装を実施



2層目に灰色の塗装を実施  
(ブロックの縫ぎ目には3層目の  
白が先に塗装されています)



三層目の白塗装が完了

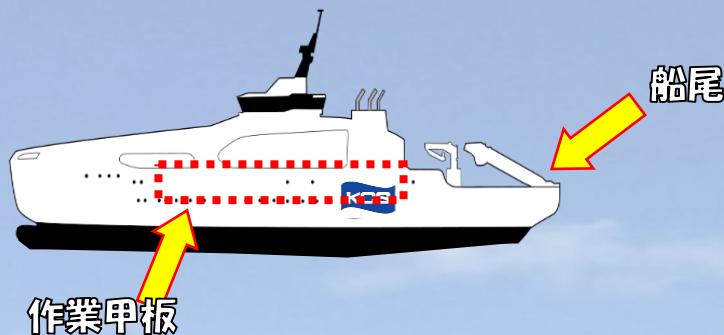


海洋生物の付着を防止する防汚塗料  
の塗布を実施(赤と黒)



ロゴや船名も  
入りました!!





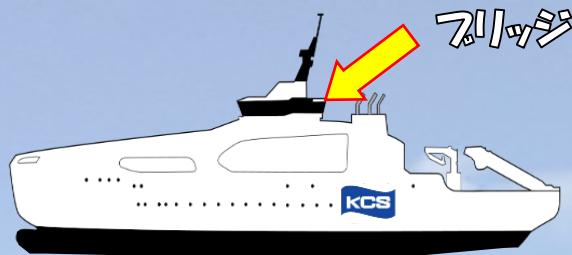
ケーブル作業を行う“作業甲板”的  
建造が進んでいます。  
写真に大きく写っている物は、  
ケーブルタンクの入口です。



船尾シーフ取り付け  
このシーフを通ってケーブルは繰り出し  
/回収されます。



埋設機(PLOW-II)用のA-Frame(吊上げ、  
繰出し用機器)



ブリッジ内では作業台などの製作や、機器の搭載が進んでいます。



ブリッジ中央の作業スペース



操船用の機器据え付け



1月にはブリッジの上にマストが搭載され、2月に塗装が完了しました。  
遠くからでも黒いマストが目立ちます!!



電力・通信ケーブルの搭載が可能なタンク、カルーセルの組み立てが進んでいます。



カルーセルの中心の壁及び外側の壁が完成しました。



フレッジに窓が取り付けられました。  
(※上の写真は先月のものです)



# KDDIケーブルレインフィニティ建造日誌

## ドライドックから岸壁への移動

2018年11月



ブリッジ(操船をする場所)が搭載されました。



岸壁への移動は台船で曳いて行いました。



台船に曳航され、無事ドックから出て行きました。



これからしばらくは浮上したままの作業になります。



船名「KDDI CABLE INFINITY」が船体  
に入りました。



船名(カタカナ)の印付けをしているところ  
です。



船体上部のブロックが統々と搭載されま  
した。



アジマススラスター搭載の様子。大きい。



# KDDIケーブルインフィニティ建造日誌

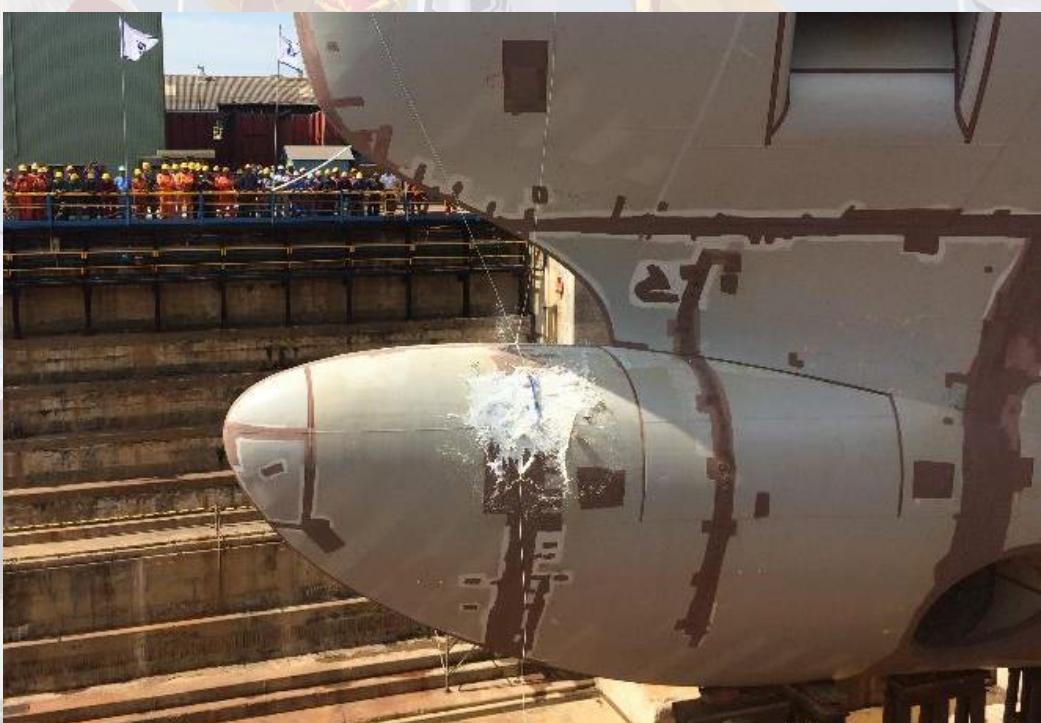
進水式 1 of 2  
(2018年9月3日)



スリランカの進水式では、牛乳がたっぷりと入ったミルク壺を船体に当てて割るというセレモニーを行います。



進水斧で壺につながるロープを切断する当社社長、安楽。





ミルク壺が割れると同時に風船が飛ばされ(写真左)、ドックへの注水が始まりました(写真右)。

会場には、スリランカのシンハラ語で、造船所職員への感謝のメッセージが飾られています→  
(看板要約: 予定通り、ケーブル船の進水式が行えるようサポートしてくれて感謝します)





# KDDIケーブルレインフィニティ建造日誌

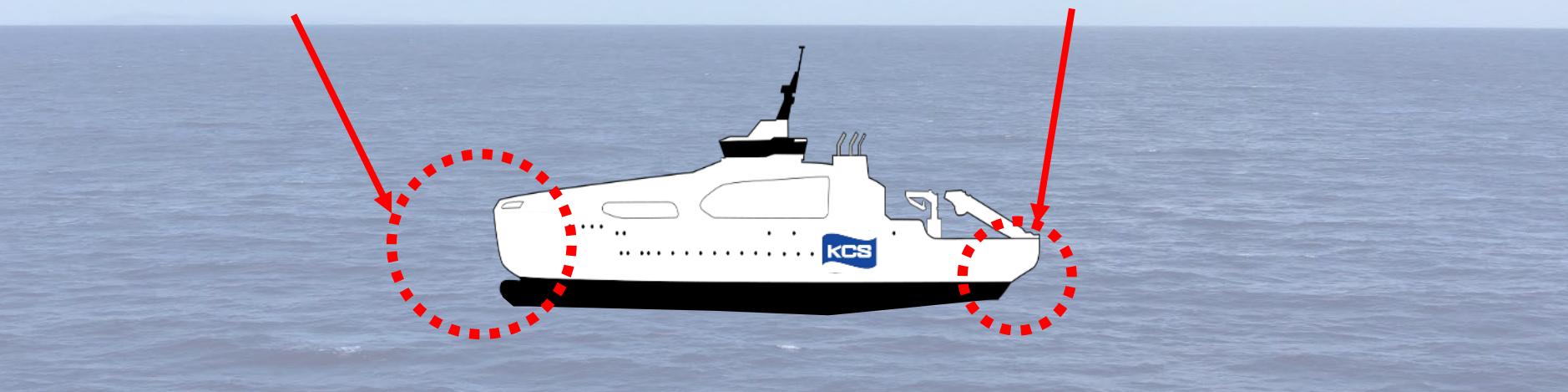
2018年8月



船首部分の搭載が完了



船尾部分の搭載も完了

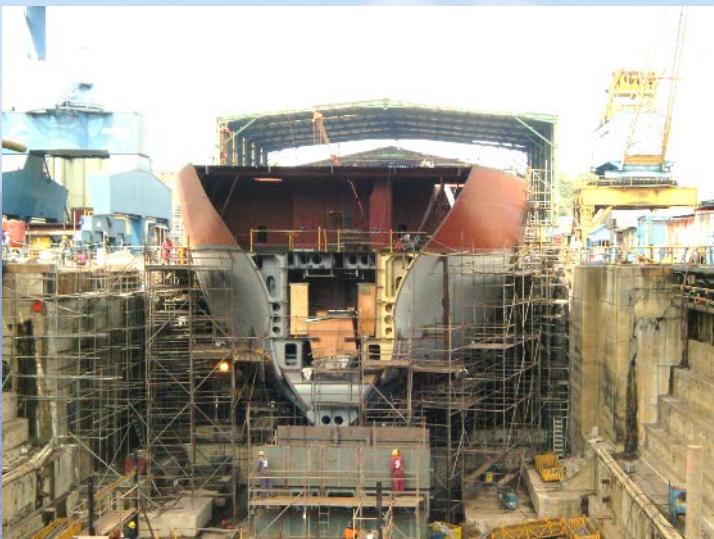




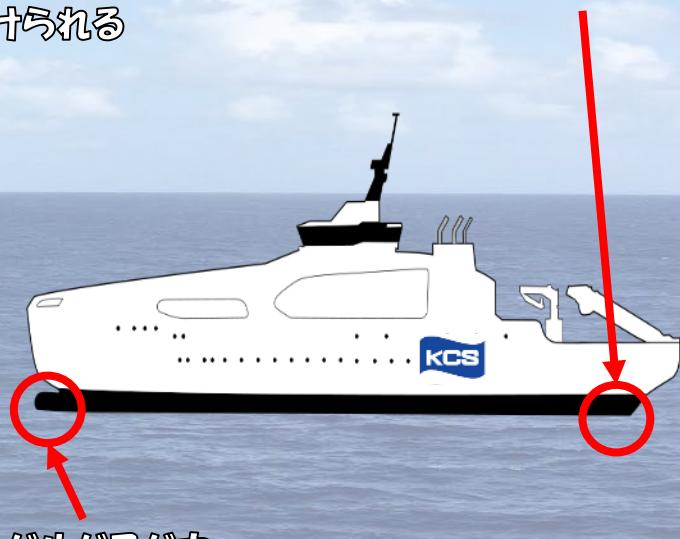
塗装前の船首(バルバスバウ)部分



船尾の様子。飛び出している部分の少し後方にアジマススラスター(推進器)が取り付けられる



船を前から見た写真。次に来るブロックが上の写真の船首(バルバスバウ)部分



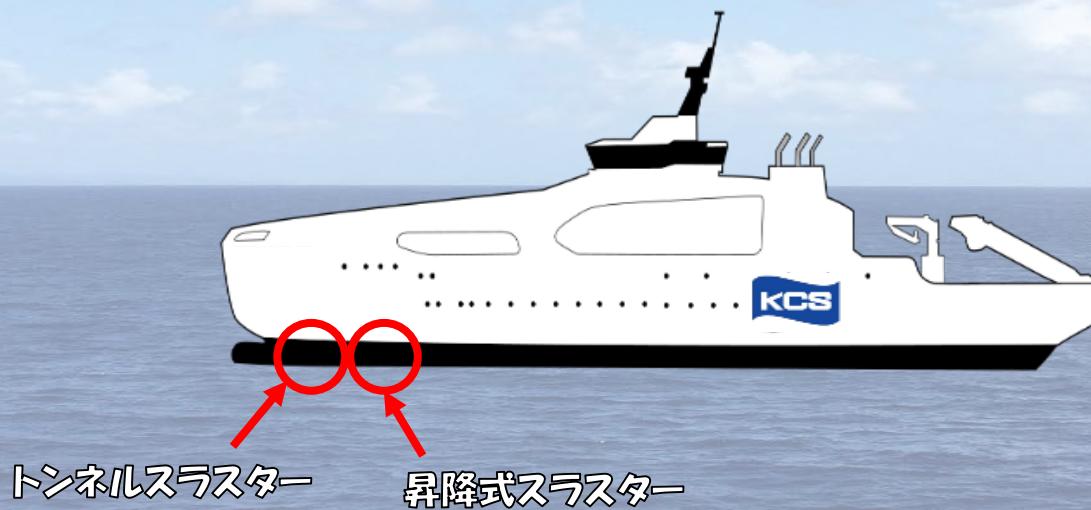
バルバスバウ



トンネルスラスターの後方に  
昇降式スラスターが搭載される



スラスター上部のブロックが  
次々と搭載されている

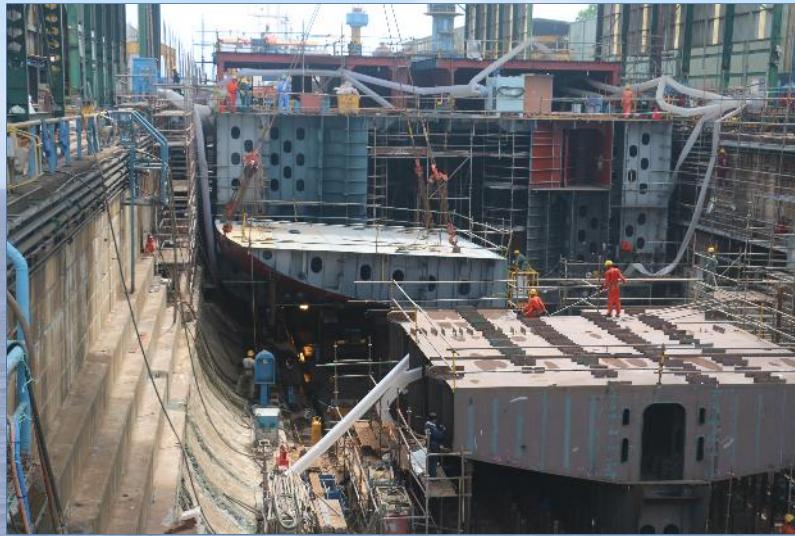




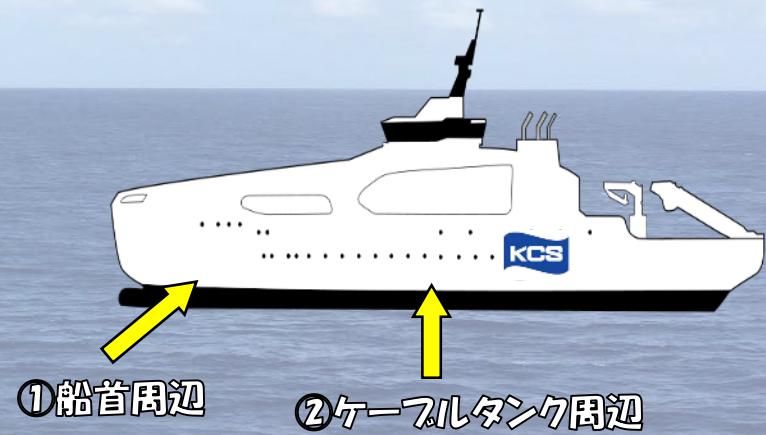
船首部分(①)が組みあがっている



ケーブル船の要、ケーブルタンク(②)周辺



ブロック搭載中



①船首周辺

②ケーブルタンク周辺



ブロックを吊り上げ / 船底の曲線が見えます



ブロックを吊り上げ



ドックへ搭載

船の下部分のブロックから順に  
様々なブロックが統々と搭載さ  
れています。



ブロックを吊り上げ



ドックへ搭載



ブロックを吊り上げ



ドックへ搭載



船底部分のブロック



船底端のブロックを搭載中



ケーブルタンク付近のブロックが搭載された

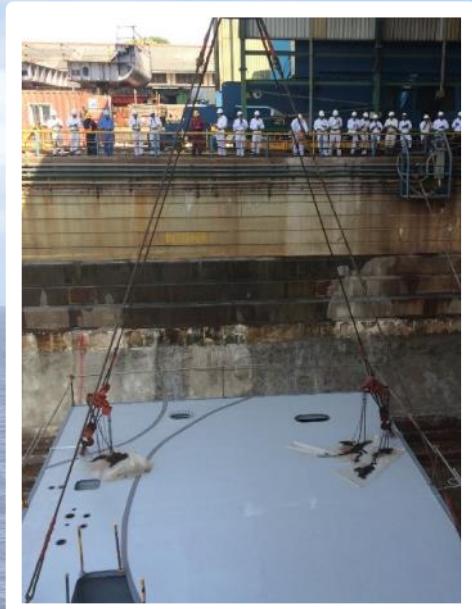
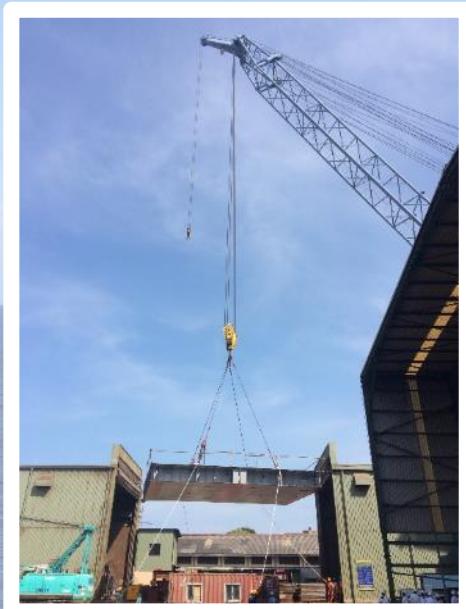


左の写真のブロックを逆側から撮影したもの



船はいくつものブロックに分けられ、別々に組み立てられます。ブロックが完成したら、建造ドックに移しブロック同士を組み立てていきます。

※ドックとは…  
船の建造・修理のために築造された施設のこと





# KDDIケーブルレインフィニティ建造日誌

起工式 初めての溶接  
(2017年9月)



来賓が着席するステージ



造船所スタッフも大勢参加



スリランカ首相を歓迎する  
Candy Danceの一挙



スリランカの伝統的儀式  
ロウノクに火をともす首相



本船の建造工程における  
最初の溶接が行われた



首相を囲んで記念撮影